

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和3年10月11日

| | |
|---------------|---|
| 地区名 | 北尾張部区 |
| 事業名 | 災害時屋外現地本部設置備品購入事業 |
| 団体名及び 代表者名 | (団体名) 北尾張部区自主防災会 (代表者名) 会長 赤沼 正英 (連絡先) 026-244-7917 |

■ 事業概要

| | |
|---|--|
| <p>簡易テント式トイレを2基購入し、仮設対策本部の機能を拡充する。</p> <p>地区公民館は耐震性が低く、地震発生時に対策本部として使用できないため、テントでの設営となる、災害時には仮設トイレを併設し、本部機能・避難所機能を確保する。</p> | <p>【総事業費】 71,280円</p> <p>【補助金額】 71,000円</p> <p>【事業完了日】 令和3年10月8日</p> |
|---|--|

■ 活動写真



※資料等ある場合は添付する

■ 事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

10月8日の区役員23人が区公民館に集まり、簡易テント式トイレの設置・収納及び使い捨てトイレの使用方法について講習会を実施し、簡単な設置方法、普段使用していない使い捨て式のトイレについて理解を深めることができた。

今後も毎年実施する防災訓練で使い方の講習を行い、災害時に備えていく。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものが有れば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■ 自己評価（該当欄に○）

| | 予想を上回る | 予想通り | 概ね予想どおり | 予定を下回る |
|-----------------|---|------|---------|--------|
| 事業の実施 | | ○ | | |
| 事業の効果 | | ○ | | |
| 特記事項 （評価理由等） | 対策本部役員全員が設営と、使用方法を経験し、防災意識を一層高めることができた。 | | | |

■ 今後の取組予定

毎年の防災訓練時に取扱訓練を実施し、災害時にスムーズに活用できるように備えたい。

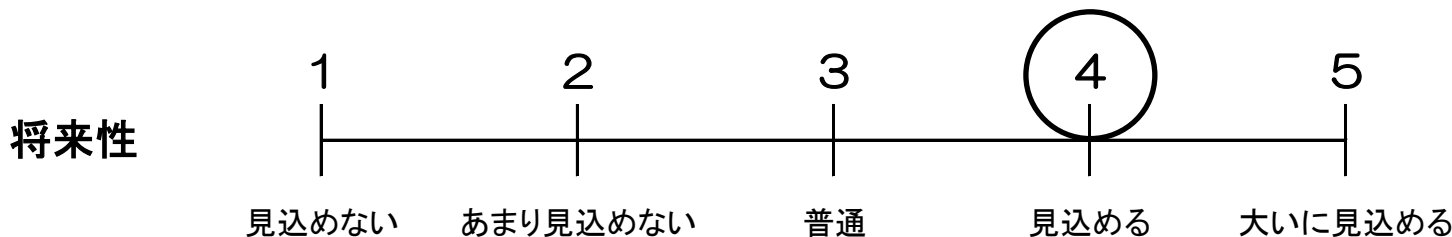
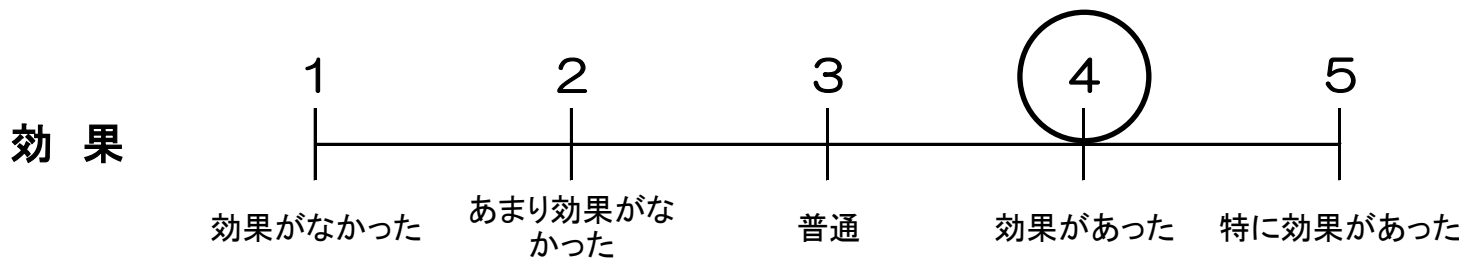
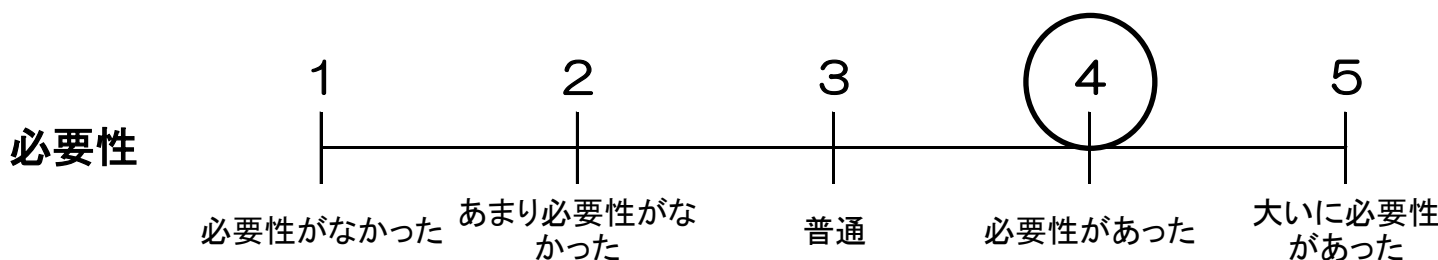
支所発地域力向上支援金 事業評価(朝陽支所)

| | |
|------------|-------------------|
| 事業名 | 災害時屋外現地本部設置備品購入事業 |
|------------|-------------------|

| | |
|------------|------------|
| 団体名 | 北尾張部区自主防災会 |
|------------|------------|

評価項目 (選考基準の視点で評価)

| | |
|-------------|---------|
| 事業区分 | 安全・安心活動 |
|-------------|---------|



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

北尾張部区自主防災会の災害対策本部は耐震性の無い公民館としており、地震災害時の設置が長年、課題となっている。昨年度、支援金を活用して簡単に張れるテントを購入し、応急的ではあるが、本部を屋外(隣接の盲学校グラウンド)に置けるようになった。災害時の本部設置は、自主防災会の活動拠点の確保に留まらず、住民にとっても安心を得られるものになったが、本部周辺に参集された区役員や区民のトイレをどうするかといった問題が浮上した。そのため、今年度は次のステップとして簡易テント式トイレの購入配備を計画されたものである。

自主防災会では、支援金事業の決定を受け、簡易テント式トイレを2基購入後、講習会を開き、役員23人がトイレの設置や使用方法等を学び、理解を深めることができ、今後も毎年、防災訓練の場でトイレの使い方の講習を行っていくとのことである。このように自主防災会の力は着実に高まっている。

今後も自主防災会では、必要な備品を調達し、災害対策本部の機能拡充を図っていくものと思われる。支所長としては、こうした取り組みが行政の手が及ばない部分を補っていくものと期待しており、住民の安全・安心の観点から、事業効果と将来性が見込める事業であると評価する。自主防災会には、区災害対策本部の区民への周知とともに、今後も地道に安全防災の活動を行っていただきたい。